

ワークショップ進行シート

作成日： 2014 年 7 月 28 日

タイトル： クールジャパンって何だ？～海外から日本を見つめなおす～

ファシリテーター（グループ）： クールジャパンチーム

1：本ワークショップの要旨

私たちの日常の一部が、実は世界で非常に注目、高い評価を受けている。私たちにとっては当たり前
前の文化が他国には当たり前ではなかったということ、クールジャパンを例に海外の視点から日本文
化を見つめなおしてもらおう。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

日本の文化がなぜ世界から注目されているのかを、日本の良さを再確認してもらいつつ、異文化を
理解することができる。

3：本トピックをとりあげる理由

私たち日本人にはとくに定着している身近なことが、実はとても素晴らしいものであるということを知
ってもらいたい。

4 : 活動過程

(使用時間 : 90分 参加人数 : 約30~40人)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応・その他, 注意事項
自己紹介 (5分)					
アイスブレイク キング (15分)	「世界のあれこれ集めて!ゲーム」	5~6人程度のグループを作成 ピースの写真に写っているものがわからなくて困っている生徒がいたら、一緒に考える。	その国の特徴や文化を知ってもらおう。	写真	「これはアメリカっぽいなあ」 「この写真と似たピースを持っている人ー」
導入 :起 (15分)	「クールジャパンって一体何なんだ!?クイズ」	例) 世界が日本の文化に注目したのは、何でしょう? 答えてくれそうな人に当てる	クールジャパンの概要や由来についてなどを知ってもらう。	図表 写真	「すし!」 「サムライかもしれないよ」
展開 :承 (10分)	「劇」 敬和大学の留学生に行ったアンケートをもとにした劇	劇を見せよう。	外国人には日本のどんなところがクールなのか、国や文化によってそのとらえ方が違うことを理解してもらおう。	写真	「外国人は初めて日本に来た時こんなことを思うのか」 「外国人に日本はこう思われているんだね。」

休憩 (10分)					
発展 :転 (20分)	<u>「お互いの気持ちゲーム」</u>	日本の常識と海外の反応をグループで考え、マッチングさせる。 例) 日本人の「すみません。」は海外の人からどう受け入れられているだろうか？	日本の文化が海外で評価されているものだけでなく、不思議にとらえられていることを知ってもらおう。 日本や海外の精神や考え方の違いを理解し、海外の人に目を向けることが大事だと気付いてもらおう。	写真 画用紙	「日本と海外とは考え方が違うんだな。」 「海外では日本の文化を不思議だと感じることもあるんだね。」
まとめ :結 (15分)	<u>「活動を通して感じたこと、考えたこと」</u> グループワーク (5分) 発表 (5分) まとめ (5分)	アイスブレイキングのグループに分かれてもらおう。 各グループで話し合い、感じたこと、考えたことをポストイットに書いてもらおう。 意見を共有し合う。	文化の違いを理解し、海外に目を向けることで異文化理解を深めてもらおう。	ポストイット マジックペン	自由に書いてもらった子どもたちの意見を尊重する。

5:会場のセッティング

- ・ワークショップを通して、生徒は机、椅子を使用しない。ただし、道具を置くために、2, 3個の机が必要。
- ・可能であれば、パワーポイント(スクリーン)を使用したい。

6:使用する教材

- ・写真
- ・ポストイット
- ・マジックペン

7:参考にした資料

- ・「ニッポンのここがスゴイ！ 外国人が見たクールジャパン」 堤和彦 著(株式会社武田ランダムハウスジャパン、2011年)
- ・「COOL JAPAN 発掘！ かわいいニッポン」 NHK『COOL JAPAN』取材班・編(株式会社武田ランダムハウスジャパン、2008年)

8:その他

単なる日本自慢で終わらせないように注意しながら、日本と海外それぞれに良さがあるということに気付いてもらえるようワークショップを進めます。